

令和4年度 群馬県青少年赤十字東部地区連絡協議会  
令和4年7月6日 10:00～ 於 太田合同庁舎

実践発表

# JRCの取組について



太田市立沢野中央小学校  
2022.7.6



太田市立沢野中央小学校  
開校 2003年



児童数 389名  
17クラス (含む特支) + 国際教室

## 1、JRC委員会との連携

- (1) ベルマーク回収・集計
- (2) 青少年赤十字登録式
- (3) 赤い羽根共同募金

他・書き損じはがき寄付  
・トレーニングセンター  
(R2,R3年度は中止)

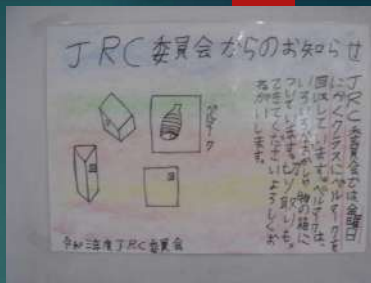
## 2、JRCに関わるその他の取組

- ▶ (4) 防災教育 (本日のメイン)
- ▶ (5) 自然災害に伴う募金活動と送金

## 1、JRC委員会との連携

# (1) ベルマーク回収・集計

- ▶ 各クラスに容器を配付（担当教員とJRC委員）
- ▶ 毎週木曜日にベルマーク回収袋を配付（各学級担任）  
＜封筒はPTAが用意したものを通年使用＞
- ▶ 毎週金曜日にJRC委員が担当クラスへ回収しに行く。
- ▶ 常時活動や委員会で切る、分ける作業をする（JRC委員会）
- ▶ 月1回程度学年委員が作業をする（保護者）
- ▶ PTAの専門部（文化部）が袋詰め、集計をする（PTA）
- ▶ 袋詰めしたものをベルマーク本部へ送る（担当教員）



## 1、JRC委員会との連携

# (2) 青少年赤十字登録式

- ▶ 4年から6年までが登録。式の準備や進行はJRC委員が中心。
- ▶ H31年度までは体育館で実施。R2年度は未実施、R3年度は校庭で実施。
- ▶ 放送委員会と連携し、事前に赤十字の歌「空は世界へ」を給食時の放送で流し、児童の関心を高める。
- ▶ 事後、4年生にワッペンを配付。

## 1、JRC委員会との連携

# (2) 青少年赤十字登録式



## 1、JRC委員会との連携

# (3) 赤い羽根共同募金

- ▶ 全学年対象
- ▶ 赤い羽根と保護者用の案内を用意し、配付。
- ▶ R3年度は11月16日と17日の2日間に分けて実施。
- ▶ 事前に、JRC委員が赤い羽根募金の主旨について各クラスで説明。また、給食時に放送でPR（二度実施）。
- ▶ 募金の集計は、校務センターにてJRC担当職員とJRC委員とで行う。
- ▶ 集計結果は、JRC委員が校内放送で伝える。また、保護者に通知文を配付。

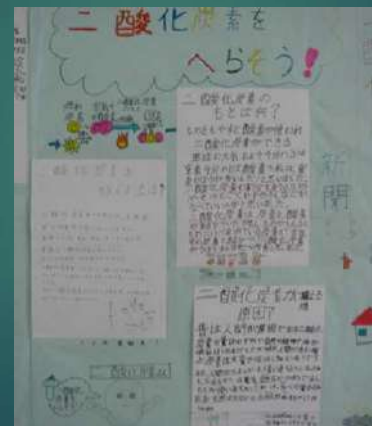
1、JRC委員会との連携

### (3) 赤い羽根共同募金



.....他には、書き損じはがきの寄付やトレーニングセンターへの参加があります。

### ISO活動 「気づき 考え 実行する」の具現化



2、JRCに関わるその他の取組

### (4) 防災教育

## 防災教育とJRC ?

○職員で研修を行う

(H30「防災教育を考える」東日本大震災・石巻防災教育研修より)

(R2「防災教育を考える」水害を中心に)

(R3「タブレット活用研修」水害を中心に)

※H30年度は太田市が主催した「東日本大震災・石巻防災教育研修」に参加し学んだことをもとに、資料を作成し、研修した。

※R2,R3年度は、社会科副読本改訂の際、新設された単元「自然災害からくらしを守る」を担当したことをもとに、研修した。

2、JRCに関わるその他の取組

### (4) 防災教育

○児童への指導

- ▶ 全校児童への一斉指導 (H30年度2学期始業式)。
- ▶ 防災の日に防災マップなどを活用した防災教育。
- ▶ 教科指導 (社会、理科、学活等)
- ▶ **青少年赤十字防災教育プログラムの活用**
- ▶ 避難訓練



青少年赤十字  
防災教育プログラム

授業で使える  
防災教材

小学用(1-3年) / 小学用(4-6年) / 中学生用・高校生用

日本赤十字社  
Red Cross Society of Japan



## 【 防災教育とJRC 】 太田市立沢野中央小学校 職員研修より

- ▶ここから紹介するのは、令和2年度の夏季休業中におこなった、職員研修（夏フェス）「防災教育を考える」において
- ▶講師 江塚和典教諭 作成の資料から抜粋したものです

# 防災教育を考える （水害を中心に）

太田市立沢野中央小学校  
～夏の資質向上研修フェスティバル～  
2020年8月19日（水）  
江塚 和典

## 本日の内容

- ▶様々な自然災害 .....本日は水害にしばって
- ▶沢野中央小近辺の状況
- ▶防災教育のこれから

### 様々な自然災害

## 自然災害

- ▶自然災害の種類 （省略）



# 水害



# 台風19号による水害

- ▶ 令和元年10月12日～13日
- ▶ 大型で非常に強い勢力
- ▶ 群馬県は特に西毛、吾妻地域を中心に、広い範囲で記録的な大雨になった。
- ▶ 河川の氾濫等による水害で、大きな被害。

# 台風19号による水害



沢中小学区でも大きな被害

避難場所に避難した児童も

# 太田市のハザードマップより

新



牛沢住宅・団地付近  
0.5～10.0m  
浸水

# 近隣の河川情報

▶ 利根川上流河川事務所 河川ライブ映像



# 近隣の河川情報

## 石田川 下田島水位観測所 量水標の読み方

3.12	はん濫危険水位 [3.12 m]
2.7	避難開始する目安となる水位 避難判断水位 [2.7 m]
2.0	はん濫注意水位 [2.0 m] 水防団が活動を始める目安となる水位
1.1	水防団待機水位 [1.1 m] 水防団が活動の準備を始める目安となる水位

太田土木事務所 TEL : 0276-32-2345

# 沢野中央小学校近辺の避難場所



避難場所を知らせる看板



沢野中央小



南中学校



沢野行政センター



市立太田高校

# 水害時に開設される避難所（太田市）

水害時に開設する避難所を指定し、段階的に開設します

第1避難所	各地区の行政センター（尾島行政センターを除く）を開設
↓ 災害発生のおそれがあると判断した場合	
第2避難所	中学校（城東中、尾島中を除く）を中心に追加開設
↓ 災害規模や避難者状況に応じて判断	
第3避難所	小学校や高等学校を中心に必要に応じて追加開設

災害規模に応じて、3段階で避難所を開設します。避難所一覧は2、3ページ（見開き）のとおりです。

**ポイント**

開設している避難所であれば、お住まいの地区に関係なく、どこでも避難することができます。地区にこだわらず、行きやすい避難所に避難してください。

# 避難場所の様子（備蓄品など）



沢野中央小

体育館 2F  
東倉庫内



非常用保存用  
飲料水



# 避難場所の様子（備蓄品など）



沢野行政センター



非常用食料や飲料水、携帯用ブ  
ランケットなど

# 避難場所の様子（備蓄品など）



沢野行政センター



災害用移動炊飯器



# 避難場所の様子（備蓄品など）



沢野行政センター



消毒用の石灰  
と土のう



# 避難する場所

- ▶ 指定避難場所への避難
- ▶ 自宅の2階以上に避難する垂直避難
- ▶ 親戚や知人宅への避難
- ▶ 安全な場所での車中泊



# 避難のポイント

## 水害時に開設する避難所について

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、災害時には、**危険な場所にいる人は避難してください。**

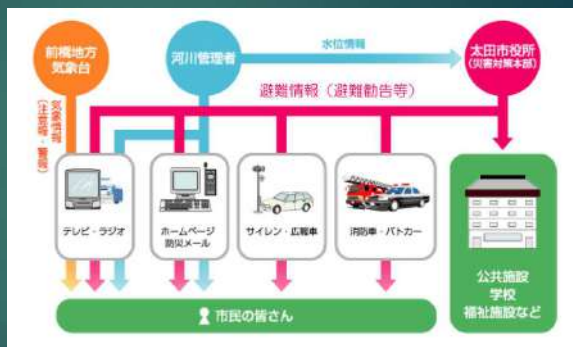
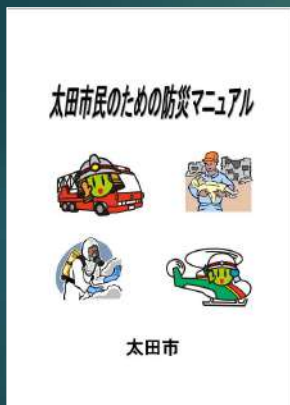
### 「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

知っておくべき5つのポイント

- ① 安全な場所にいる人まで避難所に避難する必要はありません。在宅避難(2階への垂直避難など)を検討しましょう。
- ② 市が指定する避難所以外への避難も検討しましょう。安全な地域に住む親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- ③ 避難所へ避難するときは、マスク・消毒液・体温計などをできるだけ持参しましょう。
- ④ 平時から太田市防災マップや市ホームページなどで避難所を確認しておきましょう。
- ⑤ 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。早めに避難行動をとりましょう。やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。



# 避難情報・災害時の対応（公助）



# 避難情報・災害時の対応（公助）

- ▶ 市役所・消防本部・警察
- ▶ 消防団=水防団（太田市）
- ▶ おおた安心・安全メール





## 沢野中央小学校近辺での懸念

- ▶ 太田市防災マップ  
(各家庭に配布。学校は100冊保管。)



- ▶ 心配される災害
  - ・大雨による河川の氾濫 → 水害
  - ・積乱雲の発達 → 大雨・竜巻・雷
  - ・地震
  - ・猛暑

## 防災教育の充実に向けて

- ▶ ①教科指導
- ▶ ②防災教育プログラムの活用、防災教育ポータル  
の活用
- ▶ ③避難訓練 (省略)
- ▶ ④避難場所として (省略)
- ▶ ⑤防災意識

### ①教科指導

- ▶ 4年生社会  
「自然災害(水害)からくらしを守る」
- ▶ 5年生社会「自然災害を防ぐ」
- ▶ 5年生理科「台風と天気の変化」  
「流れる水のはたらき」
- ▶ 6年生社会「震災復興の願いを実現する政治」
- ▶ 6年生国語「地域の防災について話し合おう」
- ▶ 学級活動

etc...

### ①教科指導：4年社会科

- ▶ マイタイムライン
- ▶ 避難所シミュレーション

マイタイムラインノートの教材提供

○タイムラインとは？  
タイムラインは、台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、災害(氾濫)発生までの約3日間の事態を想定し、時間軸に沿って予め防災行動を整理しておくものです。

○マイタイムラインとは？  
マイタイムラインは、住民一人一人が、自分自身に合った避難に必要な情報・判断・行動を時間軸に沿って予め検討するものです。

マイタイムラインで考える  
河川の氾濫発生までの事前行動

●マイタイムラインの紹介、検討ツールについては、国土交通省下野川事務所ホームページ「★みんなでタイムラインプロジェクト★」に、詳しい内容が公開されています。  
<http://www.ktr.mlit.go.jp/shimodate/shimodate00285.html>

ひなん所シミュレーション

・いろいろな人の立場に立ち、自分なりの答えを出します。

(1) くひなん所のしよく員として>

・300人のひなん者に対して、200人分のおべんとうがとどいた。このおべんとうをすぐに配るか。

・はい:すぐに配る

・いいえ:すぐに配らない

←国土交通省のホームページに公開されています

# ②防災教育プログラム



指導案



ワークシート

映像

## 2、JRCに関わるその他の取組

# マイ・タイムライン

○児童への指導

児童が作成したマイ・タイムライン

ふり返り、自分の家の所は、ハザードマップで何を知ることができたか、もし災害にあったらどうするか、たいていできていたか、

児童の振り返りより、「気づき、考え、実践する」ことの大切さを実感した様子がたくさん見受けられた。

ふり返り、いんが起きた時のことや台風がきた時のことをしっかり考えられました。家族と話し合いたかったです。



### ③避難訓練 ④避難場所として

▶省略



カード4 「台風・暴風を知ろう/台風・暴風から身を守ろう」

天気予報で、台風が近づいていることを知ったら、どうしたらよい？

テレビの天気予報で台風が近づいていることを伝えています。どのような危険があるでしょうか。

台風の時に、予測される危険は何ですか？上のイラストを参考に、書き出しましょう。

避難する時に気をつけることはどんなことですか？

カード5 「大気の状態が不安定」な時の危険は何か？

テレビの天気予報で、「大気の状態が不安定」と言っていますが、前から友だちとハイキングに行く約束をしており、川の中央でバーベキューをして、山道からはまわりの山々が見渡せる山に出かけてしまいました。どんな危険があるでしょうか？

ハイキング先ではどのような危険があるかまた、どうしたらよいか、あげてみましょう。

### ⑤防災意識の重要性

#### ▶災害への平時の備え

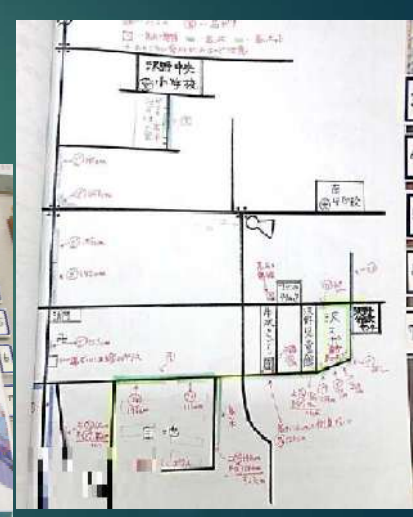
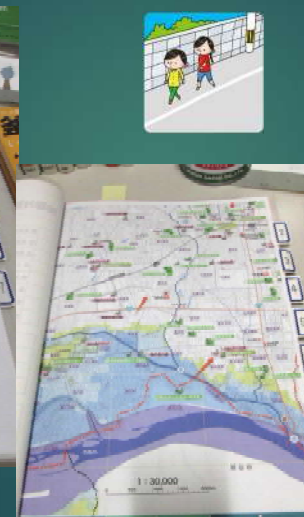
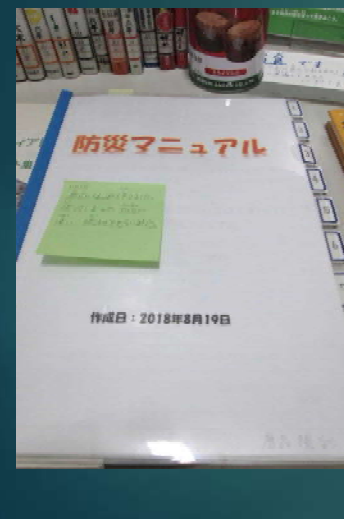
(防災マップ、非常時持出品、マイタイムライン、災害用伝言ダイヤル、家族会議)

#### ▶水防訓練・防災フェア・市の広報誌

#### ▶自助・公助・共助



### 児童が作った防災マニュアル&マップ



## 防災を考えるコーナー



## 防災意識の高揚

- ▶ 水害について
  - ・このフェスやフェス資料
  - ・自然災害に備える・避難所シミュレーション
- ▶ 地震災害について
  - ・H30フェス資料「防災教育を考える」
  - ・児童向けスライド「防災について考えよう」



◎上記データは ※※※ 10安全・防災→☆防災教育  
 ( ↑ 沢中小のフォルダです。あしからず。)

## 防災意識の高揚

- ▶ 防災意識を高めることが大切
- ▶ 日頃から防災に関する情報に関心をもつ
- ▶ 「自分の身は自分で守る」
- ▶ 知識（判断基準）⇒行動

研修内容はここまでです

## (5) 自然災害に伴う募金活動と送金

- ▶ 熊本地震への支援のための募金活動（H28.5月）  
 <集まった募金は、職員分と合わせて教育委員会を通じて、太田市と縁のある熊本県宇城市に義捐金として送金。>
- ▶ 北海道地震への支援のための募金活動（H30.9月）  
 <児童会本部役員の2人が、全校を代表してゆうちょ銀行に募金を届け、北海道へ送られる。>

## (5) 自然災害に伴う募金活動と送金

▶ 九州北部豪雨災害及び千葉県台風被害義援金 (R1.9月)  
＜児童会本部役員が、全校を代表して金融機関に募金を届け、北海道へ送られる。＞

▶ 台風19号による被害義援金 (R1.10月)  
▶ ＜児童会本部役員が、全校を代表して金融機関に募金を届ける＞



沢中小のブログでも紹介。



## おわりに

- ▶ ・過去の震災から、今後の防災教育を考える
- ▶ ・青少年赤十字が取り組んできた防災は、自分が助かったことを前提とした救急法や炊き出しなどが中心であり、「人を助けるためには、まず自分が生きなければならないこと」を学ぶ必要がありました。
- ▶ ・「未来の被災者」を救い、自然災害によって悲しい思いをする人が1人でも少なくなることを望みます。
- ▶ ところで青少年赤十字防災教育プログラム
- ▶ 「まもるいのち ひろめるぼうさい」を活用し防災への意識を高めてみませんか？



今回、紹介はできませんでしたが、他にも防災ボードゲーム「いえまですごろく」、「防災かるた」などがあります。こちらもいかがでしょうか？

ご清聴ありがとうございました